

# ゆりいか通信

第 21 号

令和8年1月



過ごします。起きてくるかなくなりながら待てるようになるまでには、ずいぶん時間がかかりました。出勤時間が迫る日は「コーギーは用意してあるからね」とだけ声を掛けて家を出ていました。

族がそれぞれ落ち着いたころの「お茶する?」と声を掛ける。「お茶する?」と習慣になつていました。

テレビを見ながらお茶をする日もあれば、「今日はテレビはいい」と言つて、静かにお茶をする日もあります。

おんなとき、子どもはぽつりぽつりと、迷いや不安を話し始めました。

成長しいつの間にか子どもたちは温でも、迷いながらお茶をする時間に変わりました。それから言葉を選び、夫婦でお茶をする時間がだつたと感じています。

寒い冬、力充沛は手のひらで温めでいるのに、夫婦で温めながらお茶をする時間がだつたと感じています。

我が家は無理かな、とほほ笑みながら待てるようになるまでには、ずいぶん時間がかかりました。出勤時間が迫る日は「コーギーは用意してあるからね」とだけ声を掛けて家を出ていました。

# 温かい飲み物から始まる声かけ

# Our Activities



の朝マルシェに出店し、さまでござまな出会いや学びの場をつくりつけています。次回2月のマルシェに向けて、企画を一緒に考え、当日も関わってくれる高校生・若者を募集します。

「アイデアを出すのが好き」「誰かの意見に『それいいやん』と言える」「友だちと何気持ちは若者が集まるのが楽しみです。参加は、来られるときには無理のない形で来ていただけで大丈夫です。地域の中でも人と関わりながら、自分のアイデアが形になる体験をしてみたい高校生がいるけれど、ぜひご紹介ください。

特に印象的だったのは、子どももや若者を支えるためには、まず周りの大人や支援者自身が自分を大切にすることの重要であるということが、参加者同士の語りの中からも感じられたことです。「うでなければならぬい」という思い込みを少し緩めることで、関わりが楽になることもある、そういうふた気づきを分かち合える温かく深い時間となりました。



12月のフラツペでは、「自分を大切にすること」をテーマに取り上げ、学びと交流の時間を持ちました。自己肯定感や、支援の場面で大切にしたい「ケアとセラピー」の視点についてレジラユメをもとに共有しながら、参加者それぞれが日頃の関わりや自身の思いを振り返りました。

3月15日（土）午後、青少年活動センター中会議室にて、トーキングイベントの開催を予定しています。当日は、実際に「お友だち」として不登校の友人を支えてきたスタッフや、不登校を経験した当事者、学校の中で子どもたちを支えてきた養護教諭を中心には、それぞれの立場から思いを語り合います。まもなく広報を開始しますので、ぜひご注目ください。

ゆりいか研究会では、新たに「不登校のお友だち」プロジェクトを本格的に始動します。不登校の子どもが増える中、その周りで友だちとして寄り添い、支え続けている子ども・若者の存在も増えています。友だちのことを思いながら、自分自身の学校生活や将来とも向き合う——そんな葛藤を抱える「不登校の子のお友だち」に光を当てる取り組みです。

# 募集中

フラッシュペ

# 不登校のお友だち

# Upcoming Events

1/18  
(日)



## フラッペ勉強会・交流会

1月は、「選挙」がテーマです。どのように伝えればよいのか考えてみましょう。

2/ 8  
(日)



## 朝市マルシェ

西陣の公園で行われる朝市に出店します。現在、お手伝いをしてくれる若者を募集中。

2/14  
(土)



## わいわいギャザリング

カリンバをさわってみたり、ボードゲームをしたりして過ごしましょう。

2/15  
(日)



## フラッペ勉強会・交流会

2月は、「ゆるりお話し会」です。良かったらお気軽にご参加ください。



- ★ 教職員・若者支援者対象
- ◆ 保護者・若者支援者対象
- ♥ 高校生年代の若者対象

いずれも詳細はゆりいか研究会ウェブサイトをご覧ください。



# 謹んで新春のお喜びを 申し上げます

起步に温かい年中は、私たちゆりいか研究会の活動前進する多くの方々により新体制での活動を進一步に進みました。昨年春より新体制での活動を一歩一歩前進することができました。

これまで、社会や学校勉強会、保護者や支援者。これまで、社会や学校勉強会、保護者や支援者。これまで、社会や学校勉強会、保護者や支援者。

これもひとえに、皆さまのご理解とご協力のおかけです。

これからも、子どもたちの心豊かな未来を共に築いていけるよう協力を賜りますようお願い申し上げます。本年も変わらぬご支援と

皆さまにとつて幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。どうぞよろしくお願ひいたします。

# Thanks to

THE PEOPLE WHO WARMLY SUPPORT US

支援者の皆様（順不同）



ゆりいか研究会



わいわいギャザリングは  
毎月第2金曜日の翌日開催です

ゆりいか研究会



大人たちのトッカツ！フラッペは  
毎月第3日曜日午後の開催です

ゆりいか研究会



平日の午後フリーな若者の居場所  
♪ふらっと♪メンバー募集中！

杉本さま、宮坂 修平さま、T.OGAWAさま

クラウドファンディングおよびその他の形で協賛・寄付をしていただいたみなさまに心より感謝申し上げます。campfire community において引き続きクラウドファンディングを受け付けております。また協賛広告や直接の寄付も受け付けております。関心をお持ちの方がいらっしゃいましたらぜひお声がけください。



## Webサイトリニューアルのお知らせ（予告）

ゆりいか研究会のWebサイトは、活動の広がりに合わせて少しづつ内容を追加してきました。その結果、情報が分かりにくくなっている部分もあり、現在、サイト全体の整理と改編を進めています。

新体制での活動開始から2年を迎えるこのタイミングで、「カリンバ体験」や「不登校のお友だち」プロジェクトなど、現在の活動が伝わりやすい構成に見直す予定です。準備が整い次第、改めてご案内します。



# 《連續小說》

# 金鷄鳥

宮美遊

## 幼少期（十八）

ふと見上げるとビワの実が目に  
入った。小屋の屋根を越すほどの  
大木になつたビワの木は、垣根の  
上から道にはみ出して、その先に  
は美味しそうな実をつけていた。  
うまそうなビワにそそられて、苗  
籠を降ろしてビワの木に登つた。  
太い枝の二股で体を安定させて  
(ようけなつとる)  
とビワに手を伸ばし、一つ取つて  
は皮を剥いた。  
「うまい、甘い」  
美味しさのあまり、次から次へと  
手を伸ばした。  
一方、田んぼの中では待ちくたび  
れた弥之助が  
(信男は、苗を取りに行つただけ  
やのに遅い!) 田植様が手エ止め  
て、立つて待つてくれとるのに)  
と苛立つていた。ちょうどそのと  
き、田んぼの横の道をブラブラと  
竜太が歩いてきたので、  
「竜太、信男と会わんかったか?  
と尋ねた。  
「のぶちゃんならビワの木に登つ

この小説は、明治・大正・昭和と激動の時代を乗り切った実在の人物をモデルとした小説です。先行き不透明な現代を生きるヒントが得られるような気がします。ぜひこれからも楽しんでご一読ください

「竜太に頼んだ。  
「遅いと思つたら……すまん  
が急いで信男を呼んできてくれ」  
竜太が走つて信男を呼びに行く  
と、まだ信男の姿はビワの木の上  
にあつた。  
「のぶちやーん、お父さんが呼ん  
どるにー」  
信男は苗のことを思い出した。  
「しまつた！」  
焦つて木から降りてくる信男に  
竜太が叫ぶ。  
「遅いって怒つとつたにー」  
信男はさらに慌てて、地面に着  
くなり苗籠を担いで駆け出した。  
田んぼでしごれを切らして待つ  
ている弥之助に、信男は息も荒い  
まま謝つた。  
「ごめん：なさい……、遅う……なつ  
て……」

繪：落葉画廊

## おしゃらせ

年末年始、家族が集まり、独り立ちしはじめた子どもたちと話す時間が増えました。それぞれが自分の道を歩む姿を見ながら、不登校だつた頃を振り返ることもありました。当時は先が見えず不安でいっぱいでしたが、悩み考え抜いた時間が、今の生活や選択の土台になつていて感じます。あの時間は決して無駄ではなく、必要な時間だつたのだと思えるようになりました。今つらさの中にいる子どもたちが、いつか自分の時間を意味あるものとして受け止められるよう、周囲が寄り添い支える活動を続けていきたいと、年の始まりに思いました。（恩庄か）

★令和7年12月号までのゆり  
いか通信をウェブサイトに掲  
載しました。関心おありの方  
にご紹介ください。

## 編集後記